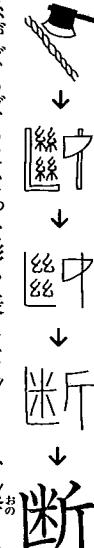


断

五年 筆順 半米 画数
オンダン ウン たリつ・ことわIIる 11

成り立ち



糸がぱらばらになつた形を表した「纏」と、斧の形を表した「斤」とを組み合わせて作った字です。

昔は、今のように、はさみやナイフのようなものはありませんでしたが、どの家にも「斧」だけは必ずありました。この斧が大きな木を切ることから、糸を切ることまで使われたのです。

断は、「糸をぱらばらに『たち切る』」ことを表した字です。「きつぱりと『たつ』」という意味に使われます。

例断絶、断念、断食。

「はつきりと『決める』」という意味にも使われます。

例断定、英断。

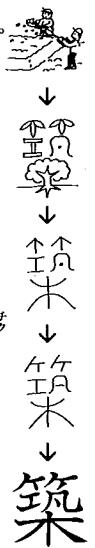
また、「拒絶する（ことわる）」という意味にも使われます。例断る、無断。

築

五年 圓数 16

筆順 竹 筑 筑 筑 筑 等
オン チク チク きずりく

成り立ち



「竹で打ち鳴らす樂器」の「築（筑）」が樂器の形を表しています」と、木とを組み合わせて作った字です。築をうち鳴らすように、木で地面を「つき鳴らす」ことを表した字です。

家を建てる時、その土地を固めるために、地面を木について回りました。この「地固め」のことを、「木でつく」ので「木づく」と言いました。「築」は「木づく」ことを表した字です。

「土台を作る」ことですが、「家を建てる」ためにすることですから、「家を建てる」ことの意味に使われるようになりました。

使い方

▽ぼくはサッカーの選手になりたかったのですが、足が小さいので断念しました。

▽無断で学校を休んではいけません。

▽断絶

（切れて絶えること。また、たち切つて、やめてしまうこと。「国際紛争で、国交が断絶する」などとうふうに、つかいます。）

▽断念（思いを断つこと。あきらめること。）

▽断食（食物を断つこと。ある期間、食物を食べないと。「太りすぎてこまつて、断食してみることにした」などとうふうに、つかいます。）

▽断定（きつぱりと決めること。「つかまつた男は、犯人と断定された」などとうふうに、つかいます。）

▽英断（思いきりよく決めること。また、決めたことを、ほめること。「君主の英断をたたえる」などとうふうに、つかいます。）

▽無断（断らずに、何かすること。）

▽判断（あれこれ考えて、決めること。「判断を間違えて、失敗してしまった」などとうふうに、つかいます。）

▽使い方

△ぼくの家は古くなつたので、こんど改築することになりました。五年前に増築した勉強部屋は、そのままにしておいて、あとは全部こわして建てかえるそ�です。△京都には古い建築がたくさんあります。歴史が古いので、古い建築が多いのです。日本ばかりでなく、世界中から、こういった建築を見に来る人があります。

△建築（建物。また、「建物を建てる」こと。）

△構築（組み立てて築くこと。「じょうぶな家を構築したことなどとうふうに、つかいます。）

熟語例

△改築（建物を建てなおすこと。）

△増築（建物を建て増しすること。「家がせまくなつたので、一部屋増築することにした」などとうふうに、つかいます。）

△新築（建物を、新しく建てる事。「わたしたちはこんど、新築の家へ引越すことになりました」などとうふうに、つかいます。）

△築城（お城を築くこと。「加藤清正は築城の名人だった」などとうふうに、つかいます。）